

よろしく申し上げます

副本部長 西澤 忠登



10月16日付けで保養会本部の副本部長に就任しました西澤忠登でございます。

生まれは、「牛に引かれて善光寺まいり」や「7年に1度の御開帳」で有名な善光寺のある長野市です。長野市生まれとはいうものの、住んでいたのは高校までですので、すっかり長野市以外での生活が長くなってしまいました。

保養会にお世話になる前は、長らく急性期病院を運営する独立行政法人で主に総務関係の仕事をしておりました。定年後は、病院がいわば医療費の請求側であるのに対し、それと反対の支払側である健康保険組合に3年半勤務いたしました。そんなわけで、図らずも医療費の請求側と支払側の双方の立場を経験させていただきました。

現在は、久しぶりの病院勤務ということと、これまで介護老人保健施設の経験が全くないということで、緊張と責任の重さを感じているところです。

これから9年後、日本では3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上という私たちが経験したことのない高齢社会を迎えます。これは、医療・介護の分野にとっても重要な問題です。医療と介護を受け持つ保養会が果たす役割と責務もますます重要になってまいります。

地域の皆様から安心と信頼を得て、そうした役割と責務を果たしていきけるよう努力してまいります。とりわけ、皆様の信頼を勝ち得ていくためには、皆様の受診や利用に対する感謝の気持ちが大切だと思います。何かの本の中に「ありがとうは、人を幸せにする魔法の言葉」という表現がありました。感謝の気持ちを伝えることで周りがハッピーになります。

そんな気持ちを忘れずに仕事に取り組んで参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。